

少しでも早い調査と、正確な情報発信が求められる。

PFOA対策の推進

1. 市等の対応について

PFOAについてはまだまだ不明点が多く、そのような状況下での対策(抜粋)は以下の通りです。

1. 摂津市
 - ① 現在、摂津市では**飲用井戸としての活用はない**。※1
 - ② 科学的知見の積み重ねのないうちに話題が先行すると、**風評被害の影響が大きくなる**ことを懸念される。※2

(参照:摂津市議会 ※1 令和3年第4回定例会 12月14日、※2 令和4年第1回定例会 3月7日)
2. 大阪府

PFOAの計測地点を増設するとともに、国に対して、**農作物の摂取と人の健康への影響を明らかに**して、その結果を踏まえ、**土壌、水質及び農作物等に関する汚染状況の評価、その対応に関する指針等**を示すよう要望している。

(参照:摂津市議会 令和3年10月 定例会(第3回) 10月29日-05号)
3. 当該企業

2015年にPFOA等製造を完全終了し、2009年より継続して地下水を汲み上げ浄化装置による**PFOA除去等**を進め、**流出防止**の矢板設置を検討するなど対策の強化を進めている。

(参照:大阪府「有機ふっ素化合物(PFOA等)に係る水質調査結果(令和3年8月)」)

2. 国の取組みについて

1. **土壌汚染**に関して、R3年度から環境研究総合推進費を用い、**土壌中の挙動、除去技術の開発も研究中**である。
 2. 毒性評価に関する国際的な**知見の収集**や分析方法に関する**調査研究**に取り組む。
- (参照:第204回国会 参議院 環境委員会 第15号 令和3年6月8日)

市民の**不安解消**には、**速やかなPFOAの実態解明**が必要である。市へ、**府と国へ対策推進**を求めるよう要望した。
(令和4年第1回定例会3月7日)

3. 風評被害から地域を守る取組みも必要

一部報道等では、国の知見が明らかになっていないことや統計的な客観的事実を抜きにして、**発がん性**などがあるということが強調される中で、市民の**不安が高まっています**。そのため**風評被害**も起き始めています。このような風評被害からも地域にお住いの方々を守らなければなりません。

市議会において、市民が適切に判断できる正確な情報を発信すること、そして国と大阪府へ**風評被害対策**もPFOA汚染対策と並行して進めることを求めるよう要望しました。



風評被害を防ぐため、市民の判断に必要な正確な情報発信を要望しました。
(令和4年第1回定例会3月7日)



プロフィール 松本暁彦(まつもとあきひこ) (摂津市議会議員2期目)

●昭和58年生まれ ●関西大倉高校卒業 ●香川大学農学部卒業 ●陸上自衛隊(退職時:1等陸尉)、東日本大震災・PKO(ハイチ)で派遣活動に従事 ●衆議院議員とかしきなおみ事務所元秘書 ●MBA取得(関西学院大学経営戦略研究科卒業)

●消防団 ●大阪防衛協会 ●座右の銘 時かぬ種は生えぬ



これって一体なに?

※これは摂津市議会議員松本あきひこの市政活動を報告するものです。

PFOA問題について

摂津の実りある**改革**へ
～地域を守り、未来を育む～

健康被害はあるのか? 摂津市の実状

少しでも早い調査と、正確な情報発信が求められる。

PFOA対策の推進

摂津市議会議員

松本あきひこ 通信 Vol.8

令和4年 3月発行



自由民主党 元自衛官

ご挨拶

この市政報告では、今、多くの注目を浴びている**PFOA問題**について特集しました。

このPFOA(ペルフルオロオクタン酸・フッ素を含む有機化合物)について市内の一部地下水から暫定基準値を上回る**高濃度で検出**され、問題となっています。PFOAはまだ不明な点が多く、また一部で健康被害の可能性があると懸念され、市民の方も不安を抱かれ、そして市議会でも多く議論されています。

このPFOA問題は、国の**PFOA調査の促進**や**関係企業の対策**が強く求められます。ただ、国においてPFOAの健康に関する知見が明らかにされていない中、また摂津市において健康被害が把握されていないという中で、**発がん性の可能性**などをことさら取り上げる等の過剰な報道で、地域住民の**不安がますます大きくな**っています。そして風評被害も出始めました。

そのためPFOA対策の推進を求めることは勿論のこと、**風評被害防止**も合わせて取り組むことを求めています。

なお、**分からないことからの不安**を少しでも解消できるよう情報発信が必要であり、その第一弾として当市政報告でまとめました。

今後もPFOA問題について継続して情報発信を行って参ります。また、ご不明な点がございましたら何なりとご連絡ください。



これって一体なに？

PFOA 問題について

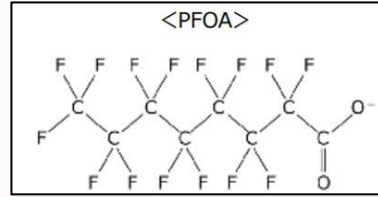
1. 摂津市での PFOA 問題の概要

PFOAとは、ペルフルオロオクタン酸 (Per Fluoro Octanoic Acid) の略称で、フッ素を含む有機化合物で、PFOS もあります。(以下「PFOA 等」で略す。)

PFOA 等は、泡消火薬剤や表面処理の用途に使われ、市内にあるダイキン工業淀川製作所で製造され、2015 年末に完全にその製造が終了しています。

ただ、製造終了したものの製作所に残留 (詳細は不明) があり、地下水へ浸透していると推測されます。

環境省が 2020年5月 に示した PFOA の暫定的目標値 50ng/L に対して、摂津市内測定地で約 1,800ng/L と出たことで、問題となり大きな注目を浴びています。なお当該企業は2009年※には、地下水を汲み上げ、浄化処理を行うなど対策を講じています。



※引用:大阪府資料「有機フッ素化合物 (PFOA 等) に係る水質調査結果 (令和3年8月)」

2. PFOA の実態について

1. PFOA・PFOS は健康の保護に関連する物質ではあるが、引き続き知見の集積に努めるべきものとされる。(環境省)
2. 国際がん研究機構 (IARC) においては 2B (ヒトに対して発がん性がある可能性がある。) に分類されており、発がん性に関する報告も一部ではあるが、知見が十分とは言えず、国際的な評価はない。※1 なお同分類には **わらび、漬物、鉛、無線周波電磁界** 等がある。※2 (引用:※1 中央環境審議会 第5次答申 令和2年5月27日、※2 国際がん研究機関の IARC 発がん性分類、)
3. PFOA 等は私たち日本人が日常生活で極微量だが **摂取している** と推定されている。(魚介類や肉類等から摂取) 農林水産省が実施した2012年—2014年調査の推定摂取量で PFOA が 0.072-0.075ng/kg 体重/日と算出されている。(引用:内閣府食品安全委員会ファクトシート「パーフルオロ化合物(概要)」p3)
4. PFOA 等の人の血液からの **排出半減期は2~4年** とされる。(引用:環境省「PFOA とその塩及び PFOA 関連物質の有害性の概要」(半減期:生体内に入った薬などの物質が、代謝や排泄などによって **半分に減る** までに要する時間を示す。)
5. 国は、PFOA の水の **暫定的目標値 (50ng/L)** を設定。(引用:環境省「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等 (通知)」)
6. **政府見解・小泉環境大臣 (当時) 等答弁** (引用:第204回国会 参議院 環境委員会 第15号 令和3年6月8日)
 - ① 国際的にも今、土壤中の PFOA の分析方法の確立がされていない。
 - ② 環境省としては、毒性評価に関する国際的な知見の収集や分析方法に関する調査研究に取り組む。
 - ③ 健康と PFOA、PFOS の因果関係についても **しっかりと研究を深めていく**。

3. PFOA の地域への影響

1. 大阪府の調査 (H19年からの当該製作所周辺の観測地点) では H19年 (2007年) をピークに地下水の **PFOA 濃度は右グラフのように低下** している。(一部不明箇所あり)
2. 当該製作所周辺地域での **地下水 (井戸等) からの高濃度の PFOA 検出で、井戸水を利用して農作物を作られ、不安を抱えている方々がおられる**。(聞き取り等)
3. 農作物の **風評被害** について声が上がっている。(市より)
4. 井戸水が **飲用されることはない**。(市より)



地下水中の PFOA 濃度の推移
引用:大阪府資料「有機フッ素化合物 (PFOA 等) に係る水質調査結果 (令和3年8月)」

健康被害はあるのか？

摂津市の実状について

1. 水道水は安全である。

摂津市の水道水の PFOA 濃度については、市内水道水で使用する混合原水 11ng/L (2020年10月)・企業団受水 14ng/L (2020年5月) でともに暫定的目標値 50ng/L を下回り、**問題ありません**。

引用:摂津市【水道原水及び浄水水質検査結果書】、大阪広域水道企業団【受水市町村分岐等における水質検査結果】

2. 健康被害は把握されていない。

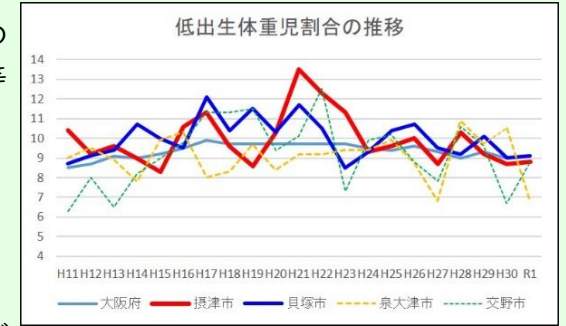
1. 国は、住人に **健康被害が生じているという情報は聞いていない**。政府見解・小泉環境大臣 (当時) 等答弁

(引用:第204回国会 参議院 環境委員会 第15号 令和3年6月8日)

2. 低出生体重児について

PFOA 等は **低出生体重児** の要因となりうるのではと云われている。そのため摂津市の低出生体重児割合の統計等について確認した。右グラフ等から、下記についていえる。

- ① 貝塚市は摂津市よりも 20 年間で平均割合が大きい。
- ② 貝塚市・交野市・泉大津市は、PFOA 汚染等は確認されていない。
- ③ 摂津市は **他市と比較して顕著な差があるとは言えない**。



大阪府母子保健事業データ (H11年~R1年・20年間) を引用し、摂津市と人口が比較的近い大阪府内の他市を抜粋し、上の推移表などを作成した。

低出生体重児の出生割合	
	H11年-R1年平均
全国	9.4
大阪府	9.3
摂津市	9.9
貝塚市	10.0
交野市	9.2

また、議会等での **市見解** は、国による PFOA の身体への影響の基準が示されていないことから、市民の身体への影響について市は把握していない。そのうえで、現時点では他市と比較して「**低出生体重児出生割合**」の統計上の特異点は見られない※、とのことである。

(※令和4年第1回定例会3月7日市答弁)

3. 発がん性について

発がん性 についても、**市見解** は、国による PFOA の身体への影響の基準が示されていないことから、市民の身体への影響について市は把握していない。そのうえで、現時点では他市と比較して「**がん罹患率**」の統計上の特異点は見られない※、とのことである。(※令和4年第1回定例会3月7日市答弁)

3. 摂津市での今後の健康被害の可能性は

健康被害の可能性は正確には分からない。客観的事実は一定参考となる。

(国・府・摂津市の資料等で、考察した場合)

1. PFOA 等は日々、日本人が **一定量を摂取している** と推定されている。
2. PFOA 等の人の **血液からの排出半減期は、2~4年** とされる。
3. 当該製作所の PFOA 製造は 2015 年で **終了** している。
4. H19年からの観測地点では H19年 (2007年) をピークに、**PFOA 濃度は低下** している。(但し、不明箇所も有り)
5. 国は、市内の住人に健康被害が生じているという **情報は聞いていない**。
6. 摂津市見解に基づけば、PFOA 濃度が比較的高いと推測される2007年以前の時期も含め、**他市と比較して「がん罹患率」や「低出生体重児割合」の統計上の特異点は見られていない**。
7. 市内にて井戸水が **飲用されることはない**。
8. 長年、当該製作所周辺の井戸水を利用して **農作物** を作っている方々がおられる。